

陸連時報 三

2019
令和元年

6 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

第463回世界クロスカントリー選手権大会(2019/デンマーク・オーフス)報告……………	182
(長距離・マラソンディレクター 河野匡)	
2019年度2020東京オリンピック対策カンファレンスについて……………	183
日本陸連と富士通「JAAF RunLink」におけるICTパートナー契約を締結……………	184
渋谷区との相互協力に関する協定締結について……………	185
Running Week 2019開催概要……………	186
“日清食品カップ”第35回全国小学生陸上競技交流大会 要項……………	187
「セイコーゴールデンランプリ陸上2019大阪」10mチャレンジ開催/キッズデカスロンチャレンジ ……………	188
全国自転車計測員会議議事録……………	189
2018年度 日本陸上競技連盟 競技運営委員会 全国競技運営責任者会議……………	190
施設用器具委員会報告(2018-3)……………	192
大会観戦ガイド……………	194
陸協NEWS……………	196
事務局からのお知らせ……………	198

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

第463回世界クロスカントリー選手権大会 (2019/デンマーク・オーフス) 報告

長距離・マラソンディレクター 河野 匡

1. 大会日時 2019年3月30日 (土)
2. 場 所 デンマーク・オーフス
3. 派遣期間 2019年3月26日 (火)～4月2日 (火)
※U-20:4月1日 (月)
4. スタッフ及びカテゴリー別成績

役 職	氏 名
監督	河野 匡
U-20監督	荻原 知紀
男子コーチ	井幡 政等
女子コーチ	中尾真理子
U-20コーチ	前田 泰秀
U-20コーチ	松澤 誠
ドクター	加藤 穰
トレーナー	長田 瑞江
トレーナー	武井 隼児
渉外	山田真理子

◆シニア男子 (10240m) 団体14位

坂東 悠太	65位	34分35秒
田村 友佑	74位	34分54秒
中谷 雄飛	78位	35分01秒
山口 浩勢	80位	35分04秒
小松 陽平	92位	35分24秒
西山 雄介	99位	35分42秒

◆シニア女子 (10240m) 団体12位

田中 希実	39位	39分27秒
加世田梨花	46位	39分48秒
上田 雪菜	47位	39分48秒
藪田 裕衣	95位	43分25秒

◆U-20男子 (7728m) 団体7位

佐藤 一世	20位	25分51秒
葛西 潤	33位	26分29秒
中西 大翔	45位	26分44秒
井川 龍人	56位	27分07秒
白鳥 哲汰	70位	27分32秒
鈴木 芽吹	—	DNS

◆U-20女子 (5856m) 団体3位

風間 歩佳	14位	21分58秒
廣中璃梨花	15位	22分00秒
小坂井智絵	21位	22分18秒
土井 葉月	22位	22分21秒
酒井 美玖	29位	22分45秒
大西ひかり	33位	22分54秒

5. 総括

3月26日(火)大会4日前に出発。年度末の旅行者ハイシーズン時期で最短移動が手配できず日本からほぼ24時間を要し深夜デンマーク・オーフスに到着した。デレゲーションの荷物の



関係もあるので經由地で1～2泊し、事前調整してから現地入りする方法もあるが大会までの期間を考えると判断が難しいところである。2024年パリオリンピックに向けてヨーロッパに拠点を設けるのも一案だと思った次第である。

寒さを心配したが滞在期間中大きな天候の崩れもなく大会当日が最も良かった。選手村はオーフス市内のホテルに各国分宿したが、清潔感もあり街中があったので選手・スタッフ共にストレスなく過ごすことができた。

ヨーロッパで人気のクロスカントリーだが、IAAFセバスチャン・コー会長はオリンピック種目として導入したい意向があるようである。そんな思いを背景にコースセティングが大会史上最も過酷であった(写真参照)。公園内の丘陵と建物(美術館)を駆使し、1周約2kmの中で平坦が20mほどしかなく、急こう配の上に各所に砂地を造り、水溜まりや泥地も配置。これまでの自然を利用したコースから「Xゲーム」さながらの見る側を意識した人工的なセティングは、大会前々日、前日に下見をした選手から異口同音に「このコースを本当に走るか?」と驚いていた。このような仕掛けはクロスカントリーの面白さを創出すると共に、諸外国の選手に比べて筋力、バランスに劣っている現状を補うためにも日本でやってみる価値はあると思った。

結果は別表の通りだが、男女シニアはアフリカ勢に圧倒された。しかし男子の坂東(富士通)、田村(黒崎播磨)は日本選手権クロスカントリーから好調を維持し健闘した。年齢的にも若く、体幹もしっかりしているのでトラックシーズンでの飛躍に期待したい。また小松(東海大)が積極的なレースを展開し1周目先頭集団で通過したチャレンジ精神は評価したい。女子はアジア選手権の関係でフルエントリーできず4名出場したが、上位争いに加われなかった。難コースに対応する逞しさを求めたい。

U-20男女は男子が入賞、女子はアフリカ勢の一角を崩して団体3位を狙えればとスタッフミーティングで目論んでいたが、見事に達成した。特に女子は6名全員が持てる実力を大きな舞台で出し切ってくれた。ファイナルパンケットでの表彰は本当に誇らしかった。メンバーに3名1年生が含まれているので2年後も期待できると思う。今後の成長を期待したい。男子はアフリカ勢のU-20の台頭が目覚ましく、ケニア、エチオピア、ウガンダに続いてモロッコ、南アフリカも着実に強化してきていてレベルアップが著しい。彼らと対等に戦うには、シニアも含めて記録会での記録偏重の強化を考え直す時期にきていると感じた。

クロスカントリー・レーシングはトラックレースで世界と戦うために重要であることは関係者で共通認識されている。しかし駅伝、マラソンの位置づけが高い状況下でクロスカントリーを強化策として取り入れるには、大会の価値を上げることと大会数を増やす必要がある。競技日程の調整と啓蒙活動を今後の課題として今大会の総括としたい。



2019年度2020東京オリンピック対策カンファレンスについて

開催日：2019年4月5日（金）～6日（土）

開催場所：味の素ナショナルトレーニングセンター大
研修室

第一部（専任コーチと合同で実施）

1. アンチドーピング関連

日本アンチドーピング機構（JADA）の協力のもと、アンチドーピングにおける考えかたなどを実際起こった事例を含め説明いただいた。

2. 国際競技会での競技規則・競技規則改定に伴う注意点

事務局の関が本年度改定された競技規則を重点的に説明。

3. 選手の権利と義務

山崎ディレクターより、強化競技者・強化対象競技者として得られる権利及び義務について説明。その後、事務局よりスポンサーや助成金に関する説明、及び強化競技者や日本代表選手などの肖像権に関する説明を行った。

4. 味の素 NTC、国立スポーツ科学センターの利用について

味の素ナショナルトレーニングセンター専任コーチングディレクターの東中より、利用に関するNTC利用に関する注意事項の説明が行われた。

第二部（強化競技者・強化対象競技者のみ）

5. 2019年度強化方針・国際大会派遣方針について

麻場委員長より本年度の方針を説明。その後、山崎ディレクター（T&F）、及び、河野ディレクター（長距離・マラソン）により、本年度の国際大会における派遣方針等の説明。

本年度の最重要国際競技大会と世界選手権大会の選考の流れ、タイムスケジュールについて事務局より説明。

6. ワールドランキング制度・2020東京オリンピック参加資格について

来年度より本格実施されるワールドランキング制度について、概要を事務局から説明。その後、山崎ディレクターと強化競技者・強化対象が対話形式になるよう質疑応答を受付け、新制度への対応策や現段階での懸念等の確認を行った。

7. コンディショニングに関する情報提供

8. オフィシャルスポンサー・サプライヤーのサポートについてについて

事務局より、本連盟のスポンサー・サプライヤーの紹介を行った。

第三部（4月6日（土））

9. ワールドランキングに関するディスカッション

「オリンピックで目標を達成するための戦略と課題」というテーマのもと、選手間で意見交換・発表できる場を設け、それぞれが考える課題や解決策を共有した。



日本陸連と富士通 「JAAF RunLink」における ICTパートナー契約を締結

ウェルネス陸上実現のため、ランニングに関わる情報の一元管理、利活用を目指す

公益財団法人日本陸上競技連盟（東京都新宿区、会長：横川浩、以下「日本陸連」と）と富士通株式会社（本社：東京都港区、社長：田中達也、以下「富士通」）は、ウェルネス陸上を実現するためのプラットフォームの構築およびサービス企画・提供に関する協業に2019年4月19日に合意し、ICTパートナー契約を締結しました。

日本陸連は、競技団体の新たな役割として、2040年までにランニング人口2,000万人を目指すことを目標に、すべての人がすべてのステージにおいて陸上競技を楽しめる環境をつくる「ウェルネス陸上」を理念に、2018年11月1日に「JAAF RunLink」(チーフオフィサー：早野忠昭)を発足しました。

このたび、日本陸連と富士通はICTパートナー契約に基づき、ランニングに関する様々な情報を集約・管理するJAAF RunLinkプラットフォームを構築します。現在、1,000万人とも言われるランナーのデータはマラソン大会や大会関連サービスごとに分散していますが、今後はJAAF RunLinkプラットフォームにデータを集約、一元管理することで、そこに集めたビッグデータをランナーだけではなく、大会運営に役立てるほか、将来的には企業・団体へ提供し新商品・サービスの開発や販売促進に活用していただくことを目的としています。これにより、ランニング人口の拡大、ランニング・健康市場の活性化へと繋げていく、従来のスポーツ業界、スポーツビジネスの枠に捉われない先進的な取り組みになります。

まず、10月以降に、大会運営者からの要望が多かった、マラソン大会におけるランナーのスタートゾーンの最適化の実現などに活用していきます。

【JAAF RunLinkプラットフォーム^{※1}で提供する主な機能】

①ランナーごとのデータを一元管理

従来、マラソン大会ごとに出場歴をはじめとした各種データを収集していましたが、今後は、ランナーごとに新たに発行するIDにより、ランナー個人の各種データをJAAF RunLinkプラットフォームで一元管理します。さらにスマートフォンのランニング（ジョギング）支援アプリ等とのデータ連携により、日々の走行距離や時間なども集約できます。これらの蓄積されたデータに基づき、安心・安全に走るための情報・サービスの提供や、個々人の走力に合わせた大会をレコメンドし、個人に合う大会を見つけやすくなることが可能になります。

②マラソン大会におけるランナーのスタートゾーンの最適化支援

現在はマラソン大会の申し込み時における完走予想タイムの入力は自己申告制であり、速いタイムを申告すれば前のブロックからのスタートが可能となり、走力の違いから転倒のリスクやスタート直後の混雑を招く大きな原因となっています。JAAF RunLinkプラットフォームを活用することで、大会運営者はランナーの過去の大会記録から、より正確な走力を把握することができ、スタートゾーンの最適化を実現できます。また、JAAF RunLinkプラットフォームと連携させたスマートフォンのランニング（ジョギング）支援アプリから日々のランニングの記録も併せて活用できるため、過去に大会出場経験がないランナーや、最後に参加した大会から長い期間が経過したランナーでも、現在の走力に合う適切なスタートゾーンからスタートできるようになり、より安全でスムーズな大会環境づくりを促進できます。

③記録ランキング機能

大会ごとの記録ランキングだけではなく、すべてのJAAF RunLink加盟大会で収集されたデータをもとにした個人記録ランキングや、年度別・性別・年代別などこれまでになく多様な切り口でのランキング表示も可能になります。様々な角度からランニングへ取り組む際のモチベーション向上に繋げていきます。

④大会エントリーにおける過去実績の自動表示

マラソン大会にエントリーする際、IDを入力することで、従来はランナー自身で入力する必要があった完走予想タイムが過去の大会出場記録や日々のランニングの記録を基に自動的に表示、入力の手間を簡素化できるようになります。

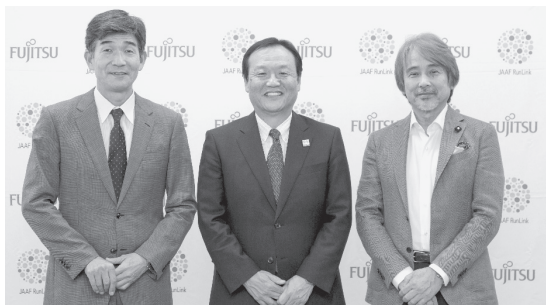
⑤PDS^{※2}の利活用推進

将来的にランナー一人ひとりに合ったトレーニング方法や商品などのレコメンド機能の拡充や、企業・団体向けのマーケティングデータの提供^{※3}、大会を通じた地域活性化への貢献を目指し、ランニング人口の拡大、ランニング・健康市場の活性化へと繋げていきます。

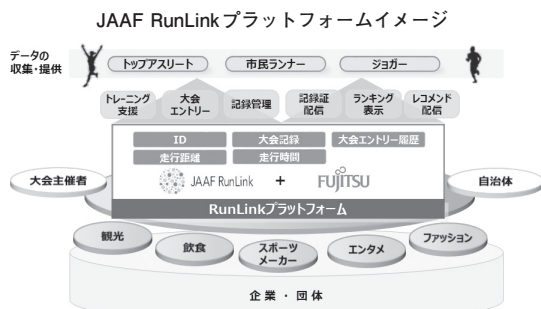
注1：RunLinkプラットフォーム：ランナーごとに新たに発行するID、大会記録、大会エントリー履歴、ランニング情報（走行距離、走行時間）などが含まれる。

注2：PDS: Personal Data Store。個人が自らの意思で自身のデータを蓄積・管理するためのシステムで、第三者へのパーソナルデータ提供に係る管理・制御する機能を装備。

注3：企業・団体向けのマーケティングデータの提供：個人情報とは本人が同意した提供先のみ開示。



(左) 尾縣貢、日本陸連専務理事、(中央) 阪井洋之・富士通執行役員常務、(右) 早野忠昭・JAAF RunLinkチーフオフィサー



渋谷区との相互協力に関する協定締結について 渋谷区が掲げる「15km²の運動場」の 実現に向けた相互協力

第一弾の取り組みとして「Running Week 2019」を6/1(土)より開催

公益財団法人日本陸上競技連盟（東京都新宿区、会長：横川浩、以下「日本陸連」）と、渋谷区（区長：長谷部健）、渋谷区教育委員会（教育長：豊岡弘敏）は、2019年4月25日（木）に「渋谷区と公益財団法人日本陸上競技連盟の相互協力に関する協定」を締結したことをお知らせします。

【協定締結の背景・目的】

「渋谷区スポーツ推進計画」に基づき、渋谷区全体を15km²の運動場と捉え、「走る・跳ぶ・投げる・歩く」といった誰もが手軽にできる陸上競技の特性を活かし、相互協力することで、子どもから大人まで、スポーツを「する」「見る」「支える」「つながる」機会を創出し、すべての人がスポーツに関わることができる社会を実現。スポーツイノベーションによる社会的課題の解決モデルを世界に発信することを目的としています。

日本陸連では、トップアスリートの育成・強化に注力してきた、「競技陸上」中心のこれまでの取り組みに加え、競技団体としての新たな役割として、2018年11月1日（木）にスタートした新プロジェクト「JAAF RunLink」^{*1}を始めとする、すべての人がすべてのステージにおいて陸上競技を楽しめる環境をつくる「ウェルネス陸上」の理念実現に向けて、渋谷区の掲げる「すべての人がスポーツに関わり、思わず身体を動かしたくなる街へ」のビジョンに賛同し協定の締結にいたしました。



（左から）豊岡弘敏・渋谷区教育委員会 教育長／長谷部健・渋谷区長／尾縣貢・日本陸連 専務理事／有森裕子・日本陸連 理事

【協力事項】

- (1) 陸上競技を通じた健康増進に関すること。
- (2) 陸上競技を通じた次世代育成に関すること。
- (3) 陸上競技を通じた地域コミュニティ活性化及びまちづくりに関すること。
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に関すること
- (5) その他、相互に協力することが必要と認められること。

第一弾の取り組みとして、渋谷区内のランニング関連施設や地域コミュニティと連携し、ランニングの普及及びランニング文化の浸透を図るため、市民マラソン大会の統括・支援、個々人のランニングを楽しめる環境・機会を提供する、日本陸連の新プロジェクト「JAAF RunLink」と連携をし、2019年6月1日（土）より「Running Week 2019」^{*2}を開催いたします。

そのほか、今後の取り組みとして、東京2020大会の成功に向けて、競技運営及び大会運営の能力を高める目的とする、オリパラテストイベントへの区内小学生の招待や、学校訪問や陸上教室等の開催、その他、協定書に基づき、渋谷区との連携をより一層強化・推進していく予定です。

（※1）「JAAF RunLink」について

2040年までにランニング人口2,000万人を目指すことを目標に、市民マラソン大会の統括・支援、個々人のライフスタイルに合わせたランニングを楽しめる環境・機会を提供することを目的とした新プロジェクト。

【詳細】

<https://www.jaaf-runlink.jp/pdf/media/20181113.pdf>

（※2）「Running Week 2019」について

ランニングライフスタイルに触れていただける場として、2019年6月1日（土）～9日（日）まで、渋谷区を中心に開催するリアルイベント。

【詳細】

<https://runningweek.jp/>

Running Week 2019開催概要

■開催趣旨

ウェルネス陸上を推進する、日本陸連の新プロジェクト「JAAF RunLink」は、2019年6月1日（土）～6月9日（日）の9日間に渡り「Running Week」を開催いたします。

地方自治体、都道府県陸上競技協会、企業、ランニングクラブ等、ランニングに関わる様々なステークホルダーと連携し、本期間に全国で集中的にランニング関連イベントや販促キャンペーン等の実施を促し、ランニングの人口の拡大と健康社会の実現を目指します。

なお、第1回目となる今回は、このほど「渋谷区との相互協力に関する協定」を締結し「渋谷区全域15km²の運動場」を目指す渋谷区と連携し、「Running Week 2019 in @SHIBUYA」(渋谷キャスト スペース・ガーデン)をリーディングエリアとし、各種ランニング関連イベントを実施し、全国へ情報発信いたします。

名称：Running Week 2019

日程：2019年6月1日（土）～6月9日（日）

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

共催：一般財団法人東京マラソン財団

後援（予定）：スポーツ庁、経済産業省

一般財団法人日本経済団体連合会

会場：全国各地

■リーディングエリア・Running Week 2019 in @SHIBUYA

【メイン会場】渋谷キャスト スペース・ガーデン

【住 所】東京都渋谷区渋谷1-23-21

明治通りとキャットストリートの交差点地点に、2017年4月28日オープンした、未来の渋谷をつくる、クリエイティブな体験に満ちた複合施設

Running Week期間中に、リーディングエリアとして、渋谷キャスト スペース・ガーデンを中心に、渋谷区内に散在している魅力的な場所や企業、様々なスタイルで走るランニングコミュニティ等と連携を図り、「ランナーの街・渋谷」をPRするとともに、全国にランニングライフスタイルの提案と情報発信を行います。

名称：Running Week 2019 in @SHIBUYA

日程：2019年6月1日（土）～6月9日（日）

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

共催：渋谷区

協力：渋谷区観光協会、渋谷陸上競技協会

会場：渋谷区内全域（15km²の運動場）

渋谷キャスト スペース・ガーデン、代々木公園陸上競技場、銭湯、ランニングステーション等

※ランニングウィーク期間中のイベント詳細は、JAAF RunLink公式HPにて随時掲載を行う予定です。



“日清食品カップ” 第35回全国小学生陸上競技交流大会 要項

開催趣旨

近年、全国的に児童の体位向上は著しいものがありますが、それと平行して基礎体力の向上が望まれているところであります。一方、多くのスポーツが低年齢層に普及しつつあり、スポーツ関係者としては誠に喜ばしいかぎりであり、

そうしたなかで、各スポーツの指導者からは、小学生の基礎体力の向上とともに、あらゆるスポーツの基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」ことの正しい指導が強く望まれております。

そこで日本陸上競技連盟では、夏休みの期間を利用して、小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的としての競技会を開催いたします。また、大会を通じてグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養、陸上競技を通しての基礎体力の養成を図ります。本交流大会が、小学生のみなさんが生涯を通してスポーツに親しんでもらえるきっかけとなるよう願って開催いたします。

上記の趣旨を十分に配慮しながら、以下の開催要項に従い第35回大会を開催いたします。

1. 開催要項

[目的] 研修を通してグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養を図る
あらゆるスポーツの基本とされる陸上競技技能の習得を図る
わが国スポーツ界の底辺拡大を図り、小学生の健全なる心身育成の一端とする
小学生を指導する陸上競技指導者の研鑽を図る

[主催] 公益財団法人日本陸上競技連盟

[後援] スポーツ庁 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団
読売新聞社

[主管] 一般財団法人神奈川陸上競技協会

[協賛] 日清食品ホールディングス株式会社

[協力] アシックスジャパン株式会社
株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社

[期日] 2019年8月9日(金)・10日(土)

[会場] 神奈川県横浜市・日産スタジアム

[参加者] 小学校5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた代表選手14名と指導者3名とする

2. 選手・指導者日程(予定)

	8月9日(金) ※予定	8月10日(土) ※予定
受付		開会式
フリー練習		競技会
研修会		フレンドシップパーティー
指導者研修会		
監督会議		

3. 競技会要項

(1) 種目および参加人員

*各都道府県は、次の範囲で選手団を編成する。

実施種目	人数	種目数
5年100m	男女 2	2
6年100m	男女 2	2
コンバインドA: 80mハードル・走高跳	男女 2	2
コンバインドB: 走幅跳・ジャバリックボール投	男女 2	2
男女混合4×100mR	混合 6 (男女3ずつ)	1
選手合計	14	9
監督及び指導者	3	
合計	17	

※支援コーチ(自費参加): 4人以内

(2) 全国大会への参加資格ならびに条件

①選手は小学校5・6年の年齢に該当する児童であること。

小学5年生種目: 2008年4月2日~2009年4月1日の間に生まれた者
小学6年生種目: 2007年4月2日~2008年4月1日の間に生まれた者

②監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

◇JAAF公認コーチ(日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ・上級コーチ)又は、JAAF公認ジュニアコーチ(日本スポーツ協会公認陸上競技指導員・上級指導員)有資格者

◇監督・指導者のうち必ず1名は女性の有資格者

◇申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号の記載が必要

③選手の選考は本要項の段階を経ること。

④リレーチームの編成は、各都道府県での最終選考会に参加した時点でのリレーチームであり、大会本部の承認なしに、メンバー変更等は認められない。また、全国大会は6名でのエントリーが可能であり、できるだけ最終選考会には6名でのエントリーが望ましい。選考後の追加エントリーは認められない。(編成にあたっては、男女3名ずつとする)

⑤リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。

⑥同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。(コンバインドA・B、リレーも1種目とする。)

⑦居住都道府県と異なる都道府県でのチーム所属は可能とする。ただし、1人1所属とし、複数チームへの所属は認めない。

(3) 選考会

①各都道府県陸上競技協会による選考会を経た後にリレーチームおよび単独種目・コンバインド種目の出場選手を選考する。

②選考会への出場については、1人1都道府県とする。複数都道府県での出場は認めない。

(4) 競技規則

2019年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

4. 研修

47都道府県から代表として参加する小学生は、日程表に定められた研修会に参加する。

5. 申込方法

各都道府県陸上競技協会による選考会終了後、1週間以内に下記の手順で大会事務局あてに申込みをする。(※選考会の開催日が申込締切間近の場合、終了後ただちに申込みを行うこと。)

最終の申込締切については下記のとおりとし、原則として、申込締切を過ぎた申込みは認めない。

(手順1) Eメールにて参加申込書データの提出

「指導者・選手申込書」の必要事項を明記し、2019年7月17日(水)までにデータを下記のエントリー・輸送事務局へ必ずEメールの添付ファイルで提出する。

(手順2) Eメールにて「大会参加同意書」、「健康診断書」の提出

2019年7月19日(金)までに「大会参加同意書」、「健康診断書」のデータを下記のエントリー・輸送事務局へEメールの添付ファイルで提出する。

※原本は、各チームで大会終了時まで保管すること。

※大会参加同意書内<大会規約>2に該当する場合は、「健康診断書」の提出が必要。

申込先 Eメールアドレス: nissincup@jaaf.or.jp

※送信の際、件名に「○○都道府県・第35回小学生陸上申込書」と明記すること。

6. 宿泊・交通機関

選手団は、主催者が定めた交通機関で8月9日(金)の指定された時間帯までに集合し、解散まで主催者が定めた宿舎に宿泊する。

7. その他注意事項

①競技方法、競技者注意事項については別途お知らせします。

②競技場内での写真・ビデオ等の撮影について

本大会主催者より各選手団に40枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置(左肩)につけること。リボンが確認できない場合、警備員もしくは大会関係者よりお声掛けする場がある。

③写真の二次使用について

本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各社が撮影した写真等を、新聞・雑誌・大会報告・ホームページ等での公開、また、次回大会のポスター・パンフレット等に使用することがある。

④主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

「セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪」10mチャレンジ開催

「セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪」では、サブイベントとして、正面ゲート前ブースエリアにて、「10mチャレンジ」(タイムトライアル)を行います。このイベントにはどなたでも参加できます。「セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪」の観戦とともに、ぜひご参加ください。

〈実施概要〉

イベント名：10mチャレンジ

日時：2019年5月19日(日) 11時～14時(予定)

場所：ヤンマースタジアム長居 正面ゲート前ブースエリア

対象：子ども～大人まで

※参加希望者多数の際は参加制限を行う場合もあります。ご了承ください。

▼過去開催写真



お問い合わせ：(公財) 日本陸上競技連盟 担当：八幡・小原・伊東・古田・磯貝
TEL：03-5321-6580 (10時～18時) Mail：coach@jaaf.or.jp

キッズデカスロンチャレンジ

子どもたちに「走・跳・投」を楽しく体験し、陸上競技に興味をもってもらうために、日本陸連では普及事業として、競技会のサブイベント等にて「キッズデカスロンチャレンジ」を実施しています。



ケンケンジャンプ



クロスホッピング



ボーテックスロー



ラダースプリント



フィギュアエイト



バウンディング



シャトルハードル



ジグザグジャンプ



メディシンボールスロー



サイドスロー

「キッズデカスロンチャレンジ」は、“キング・オブ・アスレティックス”と呼ばれる、陸上十種競技(デカスロン)にちなんだ、多種目の基本運動にチャレンジする日本陸連のキッズ向けプログラムです。種目は全部で10種目。イベントや子どもたちの年代に合わせて種目を選んで行います。これらの種目は「IAAF(国際陸連)キッズアスレティックス」として、全世界で行われています。

*お問い合わせは上記まで。

*「セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪」や「第103回日本陸上競技選手権大会(福岡)」でもサブイベントとして実施します。

全国自転車計測員会議議事録

2018年度 全国自転車計測員会議

2019年2月9日(土)～10日(日)

会場：会議 日産スタジアム 301会議室

実技 日産スタジアム正面玄関前雨天走路

参加者：施設用器具委員会委員11名、自転車計測員52名、事務局3名

【第1日】2019年2月9日(土) 司会(飯村検定員)

○資料 本会議資料、AIMS資料、Run Linkについて

【事前会議】(新規計測員対象の講義)

◇高木委員長より

新規、もしくは経験の少ない方は早く集まっていた。計測の仕方についての基本内容を理解してください。

1. 自転車による道路コース計測の基本(苅込検定員)

東京オリンピックに向けて行われるMGC、マラソンの歴史、その他マラソンコースの実例について。いつ、誰が、どのように計測するかなど、自転車計測の基本的な事項についての説明を行った。計測はチームで行い、みんなが納得するコース作りが必要である。

【会議】

◇開会の言葉(福島副委員長)

◇あいさつ(高木委員長)

今日の議題はA級B級の計測員を中心に考えていただいた。自転車計測も新しい局面を迎えている。ランキング制度ができ、IAAF認証コースでなければランキング制度の記録として認められない。計測実技の時間も多くあり、盛りだくさん内容になっているので、自転車計測の技術の向上に役立ててほしい。

1. 計測員としての心構えと自転車計測について(平塚IAAF講師)

自転車計測の歴史的背景、実際の自転車計測実施、自転車計測員の心構え等についての説明を行った。

2. 計測実技 日産スタジアム 正面玄関前 雨天走路

講師 苅込(1班)

松川 梶原(2班)

福島 塚野(3班)

飯村 佐々木(4班)

桑原 因(5班)

5班に分けてカリブレーションコースの作成を行った。カリブレーションコースは90mまたは100mを作成した。その後ジョーンズカウンターを自転車へ取り付け、計測コースを下見した。

3. IAAF報告書について(因計測員)

IAAF報告書の書き方、作成する際の注意事項についての説明を行った。できるだけ簡単な英語を用いて作成することが大切である。

◇質疑応答

◇事前に提出された質問事項への返答

【第2日】2019年2月10日(日) 司会(飯村検定員)

1. 計測実技 日産スタジアム 正面玄関前 雨天走路周回コース

講師 苅込(1班)

松川 梶原(2班)

福島 塚野(3班)

飯村 佐々木(4班)

桑原 因(5班)

5班に分けて、計測実技を行った。プレカリブレーション(2往復)、コース計測(2周)、ポストカリブレーション(2往復)を行った。

2. 実測距離計算と報告書作成演習(苅込計測員)

(1) 計測データ用紙作成

計測した結果の数値を用いて、カリブレーションデータ用紙・コース計測データ用紙を作成した。それぞれの班での計測誤差は4m～10mであった。

(2) 実測距離調査報告書作成

3. 検定要項の内容及びA級B級会議の報告(福島計測員)

(1) 長距離競走路の検定について

改定予定の検定要項(案)より説明を行った。

(2) A級B級計測員会議の内容の報告

2018年5月に行われた、自転車計測A級B級計測員会議の報告。

4. Run Linkの概要(事務局畔蒜氏)

新しいロードレースのプロジェクトの進捗状況の説明。

5. 規則改正とIAAFの動向(高木委員長)

2019年度の自転車計測に係わる規則改正とIAAFの動向についての説明。

6. 質疑応答

7. 修了証交付・その他

参加者を代表して東京の渡辺氏に高木委員長より修了証が手渡された。

◇あいさつ 高木委員長

計測の実技の時間が多く取れ、これをきっかけに更に地元に戻ってしっかり検定業務を行ってください。会議の終了者が推薦され計測員となります。新しく技術役員になる方は技術役員になってから委嘱となります。

◇閉会のことば 高沼副委員長

2018年度 日本陸上競技連盟 競技運営委員会 全国競技運営責任者会議

第1日 (2月9日)

開会あいさつ

尾縣 貢 専務理事

・東京オリンピックまで1年半となった。この1年間で一番大切な時期となる。すべての選手がオリンピック、パラリンピックに参加して良かったと思う接し方をしていただきたい。日本らしい運営を行っていただきたい。そのためにもこの一年間を大切にしていきたい。

事務連絡

関 隆史 幹事

・資料・英語版ルールブック販売について、短冊の配布について、青山商事のデスク設置について。

公認審判用ウェアについて

青山商事株式会社

・公認審判員の1200名以上のウェアをこれまで購入いただいている。本年度も全国で購入できる体制を整えている。

競技会実施報告 (諸問題発生事例)

・基本的には配布資料の確認であったが、各主催陸協より特記事項について、説明があった。

国際競技会・講習会報告

U20世界陸上競技選手権大会

緒方 信也 委員

鍋島 太一 委員

・今回の大会は、7月8日～13日の派遣で、フィンランドのタンペレにおいて開催された。
・今回は競技役員として参加する派遣ではなかったため、スタンドから運営方法等の視察をした。競技役員体制について、サブトラックについて、PECRについて、資料をもとに説明。
・日本の大会運営は丁寧に細かく、日本の良さに改めて気付くことができた。

ITO (Area Level II) 講習・試験報告

関根 春幸 副委員長

・レベル2の試験は、レベル1とは違い、ルールブックに載っていないような判断をすることが求められた。プレゼンテーションの問題は1問、口頭試問は4問のうち3問を選ぶものだった。
・マレーシアには6人ほどITOがあり、日本はまだそのレベルに達していない。今後、さらに審判員の養成に取り組んでいきたい。

IRWJ (Area Level) 講習・試験報告

山田 英生 JRWJ

・レベル2は、エリアレベル (アジア) で歩形の判定ができるもので、今回、日本から2人参加した。
・筆記試験は選択問題と記述問題の両方があり、難易度に差が見られた。ビデオによる判定試験については、日本ではJISSのシステムで見られるものがあるので、

役に立った。

・日本として、IRWJの枠を確保しておくことが重要であり、そのためには、今後も情報収集が大切であると感じている。

施設用器具委員会報告

高沼 正利 施設用器具副委員長

・施設用器具委員会副委員長の高沼氏より資料に沿って説明。
・写真判定機のカメラの設置は強固なもので固定することを明文化した。

2019年度競技規則修改正提案

片岡 裕介 委員

(IAAF 関連競技規則修改正)

・大きな修改正はなし。主には3点のみ。

(国内規則修改正)

・選手が重篤な状況に陥った場合の対応、投てきの囲い、道路競技、確認テストについて。

競技会における広告および展示物に関する規程修改正案

杉本 太郎 委員

・大きく変更があったのは、スポンサーの欄に「スポンサー ナショナル」というものが新たに加わった。
・国のスポンサーのロゴや名前を衣類につける際は、IAAFと競技会のスポンサーに競合しないことを条件に、IAAFの承認を得ることが条件となった。特にロードレースのゴールドラベルについて、これを遵守しないと、ラベルを剥奪されることもあるので、ラベリング大会を主催する団体はご注意いただきたい。

スタートチームの基本動作の一部変更と不適切行為への対応について

青柳 智之 委員

・「On your marks」コマンド以降の動きについて、両足がスターティングブロックと接触しているか、出発係が確実に確認することを所作として追加したい。具体的には、2名が4・5レーンの後ろに立ち、ブロックを確認しながら外に移動、前にいる出発係が手の動き確認、出発という流れとなる。
・不正スタートの告知について、現在は出発係が口頭で確認し、カードを提示しているが、それをスターターが口頭で説明し、出発係がカードを提示する。

NTO研修状況報告

中島 剛 委員

・NTO試験の進捗状況について説明。
・2019年度については、4大会での実施を計画している。ワールドリレー、セイコーゴールデングランプリ、日本選手権、U20/U18日本選手権の4大会。
・2019年度の研修にご参加いただく。

審判ハンドブック2019-2020年版編集報告

黒澤 達郎 委員

・2年に1度の編集であり、2018,2019年度規則修正に対応させ、内容は大きく変わっていないが、ほとんどの章、項目で修正・加筆を行い、読みやすくわかりやすい編集を行った。

国際ランキングシステムについて

平野 了 事務局強化育成課長

・IAAFが2017年11月に発表。目的は、あらゆるステークスホルダーに対してわかりやすく、魅力ある陸上を提供するため、選手のパフォーマンスの明確な一定基準での相対値の算出するため、大会のヒエラルキーを明確化するため、エリアで実施されている大会の価値を向上させるため、記録の信憑性を担保するためである。選手のためにも記録の申請にご協力いただきたい。

質疑応答

Q (大阪：川崎) リレーの次走者の立ち位置について、競技会のレベルによっては立ち位置を説明しなければならないが？

A (片岡裕) あくまでも運用については競技会レベルで判断していただきたい。あくまでもルールはこうであるという説明をしてほしい。

事務連絡

関 隆史 幹事

・明日の受付時間、冊子販売、会場使用について。

第2日 (2月10日)

(分科会A)

あいさつ

関根 春幸 副委員長

・競技会運営がワールドワイドに広がっているの、しっかり聞いていただいて持ち帰ってほしい。

公認競技会開催申請

鍋島 太一 委員

・2018年申請における諸問題、2019年申請における変更点・注意点。

公認記録申請・日本記録について

岩脇 充司 委員

・日本記録について、代表決定戦の扱い公認記録の申請について。

記録の公認申請について

分室 高橋 克己

・競技会の変更と中止の使い分け、記録の公認申請状況について説明。

ランキングシステムへの対応およびご協力をお願い

井上 博行 委員

・ランキングポイント対応申請の手順、開催前の情報、名前の英語表記について。

広告展示物規程の徹底方法について

杉本 太郎 委員

・(IAAF) ロードレースラベル取得大会における選手ユニフォームに関する規則について、広告規程の順守について、ルールブックP408に関して、説明。

(分科会B)

公認審判員昇格審査結果

町田 紀子 幹事

・1月19日に実施、昨年度までは委嘱状と手帳を配布

していたが、今年度より委嘱状とバッチを配布する。
公認審判員制度の改定案・公認審判員規程の改定について

鈴木 一弘 委員長

・S級昇格年を引き下げ、C級審判員の創設について説明。

(公認審判員既定の改訂について)

・倫理規定が9月に定められた。登録会員処分規程も定められ、処分について記載されており、不服申し立て委員会規程まで作られている。ホームページの「陸連について」に各種規定が掲載されている。

競技会運営に関する共有事項について

赤峰 俊彦 幹事

・規則に則った施設の設置について、競技会における助力について、ロード競技の安全対策について、会場との意見交換を行った。

(全体会)

分科会報告

関根 春幸・岩崎 義治 副委員長

・それぞれの分科会での決定事項、分科会の概要を発表。オリンピック・パラリンピック準備状況/WRについて

鈴木 一弘 委員長

・WRの概要、オリンピック・パラリンピック進捗状況について、競技ボランティアについて、テストイベントについて、説明。

全国的競技会における報道対応とPECR

田中 康之 委員

・10年くらい前から報道対応に関して配慮が見られるようになってきた。今後は、より良い報道対応とともに、PEC、ミックスゾーンから表彰までの形をつくっていきたいのでご協力をお願いします。

全体質疑応答

Q (長野：横打) 小学生大会について、種目変更が進められているが、何か情報があるのか？

A (鈴木委員長) 大会に間に合わせて作ると聞いているが、それ以上の情報についてはない。

コメンテーターより

吉儀 宏 特別委員

・どんなに周到な準備をしても、「人は必ずミスをする、機械は必ず故障する。」ということを認識していただきたい。

・陸連からもIAAFにルールの問題点について、長く意見を言って認められたケースがある。全国からも、色々なルール改正の要望を挙げてほしい。

事務連絡

関 隆史 幹事

・冊子販売、昼食、名札、会場使用について。

閉会あいさつ

鈴木 一弘 委員長

・跳躍競技のタイマーの始動について、主審の旗振りではなく、走路に置いたコーンが取り除かれた場面から行うといった方式を昨年提案したが、採用していただいた県ではうまくいったようである。

施設用器具委員会報告(2018-3)

施設用器具委員会

◆2018年度に公認した競技場及び長距離競走路

(2018.11.29～2019.03.27)

- 9610 菅平高原スポーツランド(陸)長野県上田市菅平高原1278の224
第3種 400m 全天候 継続 2018.10.10～2023.10.09
- 9611 加賀温泉郷(長)石川県加賀市(陸)コード番号197270
▽42km195 自転車計測 循環(一部往復)新設
2018.12.07～2023.12.06
- 9612 宿毛市総合(運)(陸)高知県宿毛市山奈町芳奈4024
第3種(条件付)400m 全天候 継続
2018.12.07～2023.12.06
- 9613 NAHA マラソン平和祈念公園(長)沖縄県那覇市国道58号
線明治橋交差点～奥武山(陸)▽42km195 自転車計測
循環 継続 2018.12.20～2023.12.19
- 9614 福島大学(陸)福島県福島市金谷川1
第4種 400m 全天候 継続 2018.06.01～2023.05.31
- 9615 相模原ギオンフィールド
神奈川県相模原市南区下溝4169地内
第3種 400m 全天候 継続 2018.12.20～2023.12.19
- 9616 長野(長)長野県長野(運)前～長野オリンピックスタジアム前
◆42km195 自転車計測 片道 継続
2018.11.01～2023.10.31
- 9617 長野車いす(ハ)長野県長野赤十字病院前交差点～
長野オリンピックスタジアム前
▽21km0975 自転車計測 片道 継続
2018.12.12～2023.12.11
- 9618 皇子山総合(運)(陸)滋賀県大津市御陵町4の1
第2種(条件付)400m 全天候 継続
2018.12.20～2023.12.19
- 9619 まつえレディース(ハ)
鳥根県鳥根ふるさと館～松江城大手前駐車場
◆21km0975 10km 自転車計測 循環 継続
2018.10.01～2023.09.30
- 9620 公認祐徳(ハ)佐賀県鹿島市林業体育館前
▽21km0975 10km 5km 自転車計測 往復 新設
2019.01.01～2023.12.31
- 室内83 ベル・アスレティクスジャパツ室内棒高跳場
群馬県北群馬郡吉岡町漆原1555の2
恒久 室内棒高跳 継続 2019.02.01～2024.01.31
- 9621 びわ湖毎日(長)滋賀県皇子山(運)(陸)
◆42km195 自転車計測 往復 継続
2019.03.02～2024.03.01
- 9622 大阪(長)大阪府大阪府庁前
コード番号277200 ◆42km195 自転車計測 片道 新設
2019.01.01～2023.12.31
- 9623 水戸千波湖(10km)茨城県水戸市内備楽園(園路～四季の原)
10km ワイヤ計測 周回 継続 2019.01.01～2023.12.31
- 9624 東松山(陸)埼玉県東松山市大学松山1481
第3種 400m 全天候 継続 2019.03.31～2024.03.30
- 9625 勝田全国(長)茨城県ひたちなか市表町商店街～石川運動ひろば
▽42km195 10km 自転車計測 循環 継続
2019.02.11～2024.02.10
- 9626 加古川(運)(陸)補助(競)兵庫県加古川市西神吉町1050
第4種 300m 全天候 継続 2019.03.01～2024.02.29
- 9627 別府大分毎日(長)大分県大分市高崎山うみたまご～大分市営(陸)
◆42km195 自転車計測 往復(一部片道) 継続
2019.03.01～2024.02.29
- 9628 練馬区立練馬(総)公園(陸)東京都練馬区練馬2の29の10
コード番号134300 第4種 400m 全天候 新設
2019.03.13～2024.03.12
- 室内84 大阪城ホール 大阪市中央区大阪城3の1
暫定 室内60m・HJ・PV・LJ・TJ 新設
2019.02.02～2019.02.03
- 室内85 湖西市複合運動施設アミニティプラザ室内棒高跳場
静岡県湖西市吉美3268
暫定 室内棒高跳 新設 2019.02.16～2019.02.17
- 9629 愛知県一宮(総)(陸)愛知県一宮市千秋町佐野向農756
第3種 400m 全天候 継続 2019.04.01～2024.03.31
- 室内86 観音寺市立総合体育館室内棒高跳場
香川県観音寺市池之尻町1071-3
暫定 室内棒高跳 新設 2019.02.09～2019.02.10
- 9630 厚木市荻野(運)(陸)神奈川県厚木市中荻野1500
第2種 400m 全天候 継続 2019.04.01～2024.03.31
- 9631 日産フィールド小机(競)神奈川県横浜市港北区小机3300
第3種 400m 全天候 継続 2018.06.15～2023.06.14
- 9632 KIX 泉州国際(長)大阪府浜寺公園～泉佐野市りんくう公園内
◆42km195 自転車計測 片道 継続
2019.03.01～2024.02.29
- 9633 南山スポーツ公園(陸)和歌山県日高郡日高町和佐1030の1
第4種 400m 全天候 継続 2019.04.01～2024.03.31
- 9634 浜田市(陸)鳥根県浜田市黒川町3739
第4種 400m 一部全天候 継続 2019.03.25～2024.03.24
- 9635 呉市総合スポーツセンター(陸)
広島県呉市郷原町字ワラヒノ山地内
第3種 400m 全天候 継続 2019.03.01～2024.02.29
- 9636 小郡市(陸)福岡県小郡市大久保444
第2種 400m 全天候 継続 2019.02.28～2024.02.27
- 9637 下野市大松山(運)(陸)栃木県下野市大松山1の7の1
コード番号094070 第4種 400m 全天候 新設
2019.01.01～2023.12.31
- 9638 群馬県営補助(陸)群馬県前橋市敷島町66
第3種 400m 全天候 継続 2019.01.10～2024.01.09
- 9639 不入斗公園(陸)神奈川県横浜賀市不入斗町1の2
第3種 400m 全天候 継続 2019.04.30～2024.04.29
- 室内87 日本体育大学横浜・健志台キャンパス第1体育館内棒高跳(競)
神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221の1
暫定 室内棒高跳 新設 2019.03.10～2019.03.10
- 9640 山梨県小瀬スポーツ公園(陸)山梨県甲府市小瀬840
第1種 400m 全天候 継続 2019.04.02～2024.04.01
- 9641 山梨県小瀬スポーツ公園補助(陸)山梨県甲府市小瀬町840
第3種 400m 全天候 継続 2019.04.02～2024.04.01
- 9642 石川県西部緑地公園(陸)石川県金沢市袋島町南136
第1種 400m 全天候 継続 2019.03.31～2024.03.30
- 9643 石川県西部緑地公園(陸)補助(競)石川県金沢市袋島町南170
第3種 400m 全天候 継続 2019.03.31～2024.03.30
- 9642-投 石川県西部緑地公園(陸)付帯投てき場 石川県金沢市袋島町西285
投てき場 継続 2019.03.31～2024.03.30
- 9644 焼津市総合(グ)(陸)静岡県焼津市保福島950の1
第4種(条件付)400m 土質 継続 2019.03.22～2024.03.21
- 9645 益城町総合(運)(陸)熊本県上益城郡益城町木山236
第4種 400m 全天候 継続 2019.04.01～2024.03.31
- 9646 函館市千代台公園(陸)北海道函館市千代台町22の24
第2種 400m 全天候 継続 2019.04.25～2024.04.24
- 9647 とうほう・みんなのスタジアム 福島県福島市佐原字神事場
第1種 400m 全天候 継続 2019.03.26～2024.03.25

9648	県営あづま(陸)補助(陸)	福島県福島市佐原字神事場	2018.04.29 ~ 2020.04.28
	第3種 400m 全天候 継続	2019.03.26 ~ 2024.03.25	[徳島] とくしま(長) 42km195 2019.06.01 ~ 2020.02.28
9649	栃木県総合(運)(陸)	栃木県宇都宮市西川田4の1の1	[福岡] 福岡県立久留米市スポーツセンター(陸) 第2種 400m
	コード番号093080 第3種 400m 全天候 新設		2018.07.30 ~ 2019.07.29
		2019.04.01 ~ 2024.03.31	[鹿児島] ランニング桜島(ハ) 21km 0975
9650	佐野市(運)(陸)	栃木県佐野市赤見2130の2	2019.03.01 ~ 2019.11.30
	第2種 400m 全天候 継続	2019.03.30 ~ 2024.03.29	[沖縄] 名護市(陸) 第3種 400m 2018.10.05 ~ 2019.10.04
9651	真岡市総合(運)(陸)	栃木県真岡市小林1900	
	第4種 400m 全天候 継続	2019.03.31 ~ 2024.03.30	
9652	富津市臨海(陸)	千葉県富津市新富146の2	
	コード番号124120 第4種(降格)(条件付)400m		(2018.11.29 ~ 2019.03.27)
	全天候 継続	2018.08.01 ~ 2024.07.31	
9653	武蔵野市立武蔵野(陸)	東京都武蔵野市吉祥寺北町5の11の20	[北海道] 北海道大学(陸) 第4種 400m 2018.11.14
	第3種 400m 全天候 継続	2019.04.01 ~ 2024.03.31	[東京] 国営昭和記念公園(20km) 20km 2018.11.30
9654	相模原ギオンスタジアム	神奈川県相模原市下溝4169	[神奈川] 海老名(運)(陸) 第3種 400m 2018.01.26
	第2種 400m 全天候 継続	2019.04.01 ~ 2024.03.31	[福井] 大野(ハ) 21km0975 2018.11.30
9655	櫛形総合公園(陸)	山梨県南アルプス市桃園1600	[三重] 四日市市中央緑地(陸) 第2種 400m 2019.03.14
	第3種 400m 全天候 継続	2019.04.01 ~ 2024.03.31	[三重] 四日市市サルビア(グ) 第4種 10km 2019.03.14
9656	世界遺産姫路城(長)	兵庫県大手前通り~姫路城三の丸広場	[大阪] 大阪(長) 42km195 2018.12.01
	▽42km195 自転車計測 循環 継続	2019.06.01 ~ 2024.05.31	[大阪] 吹田市立(総) 第4種 400m 2018.10.27
		2019.05.30 ~ 2024.05.29	[兵庫] 書写・夢前(10哩) 10哩 2019.02.01
9657	赤穂城南緑地運動施設(陸)	兵庫県赤穂市加星屋1278	[鳥根] 津和野中学校(グ) 第4種 200m 2018.11.30
	第4種(条件付) 400m 一部全天候 継続		[岡山] 神崎山公園(競) 第3種 400m 2019.01.30
		2019.05.30 ~ 2024.05.29	[山口] 三隅総合(運)(陸) 第4種 400m 2019.03.19
9658	岡山県津山(陸)	岡山県津山市志戸部245	[沖縄] 宮古島市(陸)付帯(長) 42km195 2018.11.19
	第2種 400m 全天候 継続	2019.03.25 ~ 2024.03.24	
9659	防府読売(長)	山口県防府市スポーツセンターソルトアリーナ	
	南側県道58号~防府市スポーツセンター(陸)		
	◆42km195 自転車計測 循環 継続	2019.03.28 ~ 2024.03.27	
9660	愛媛マラソン松山(長)	愛媛県愛媛県庁前~松山市堀之内公園	
	◆42km195 自転車計測 往復(一部循環) 継続	2019.04.01 ~ 2024.03.31	
9661	ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅(陸)	鹿児島県曾於郡大崎町菱田1441	
	コード番号463130 第3種 400m 全天候 新設		
		2019.04.01 ~ 2024.03.31	
室88	ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅室内(競)	鹿児島県曾於郡大崎町菱田1441	
	恒久 室内(50m/60m/100m/110m/HJ/LJ/TJ) 新設		
		2019.04.01 ~ 2024.03.31	
9662	パロマ瑞穂スタジアム	愛知県名古屋瑞穂区山下通5の1	
	第1種 400m 全天候 継続	2019.04.01 ~ 2024.03.31	
9663	千葉県立柏の葉公園総合(競)	千葉県柏市柏の葉4の1	
	第2種 400m 全天候 継続	2019.04.20 ~ 2024.04.19	
9664	カッパ(ハ)	宮城県登米市登米総合体育館前	
	▽21km0975・10km・5km 自転車計測 往復 継続	2019.03.29 ~ 2024.03.28	

◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路

(2019.03.27現在)

[北海道]	紋別市(運)(陸)	第4種 400m	2018.08.14 ~ 2019.08.13
[栃木]	足利市総合(運)(陸)	第4種 400m	
			2019.04.01 ~ 2020.03.31
[埼玉]	小江戸川越(ハ)	21km 0975	2018.12.10 ~ 2019.11.24
[千葉]	松戸(運)(陸)	第3種 400m	2019.10.01 ~ 2020.09.30
[東京]	日本大学(陸)	第4種 400m	2019.03.01 ~ 2020.01.31
[滋賀]	栗東市野洲川(運)(陸)	第4種 400m	
			2018.09.01 ~ 2019.08.31
[兵庫]	神戸総合(運)補助(陸)	第4種 400m	
			2019.06.15 ~ 2020.06.13
[広島]	広島県総合(グ)補助(競)	第4種 300m	

◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路

			(2018.11.29 ~ 2019.03.27)
[北海道]	北海道大学(陸)	第4種 400m	2018.11.14
[東京]	国営昭和記念公園(20km)	20km	2018.11.30
[神奈川]	海老名(運)(陸)	第3種 400m	2018.01.26
[福井]	大野(ハ)	21km0975	2018.11.30
[三重]	四日市市中央緑地(陸)	第2種 400m	2019.03.14
[三重]	四日市市サルビア(グ)	第4種 10km	2019.03.14
[大阪]	大阪(長)	42km195	2018.12.01
[大阪]	吹田市立(総)	第4種 400m	2018.10.27
[兵庫]	書写・夢前(10哩)	10哩	2019.02.01
[鳥根]	津和野中学校(グ)	第4種 200m	2018.11.30
[岡山]	神崎山公園(競)	第3種 400m	2019.01.30
[山口]	三隅総合(運)(陸)	第4種 400m	2019.03.19
[沖縄]	宮古島市(陸)付帯(長)	42km195	2018.11.19

◆種別変更のあった競技場

(2017.11.30 ~ 2018.03.28)

[千葉]	富津市臨海(陸)	第3種⇒第4種 (降格)
------	----------	--------------

◆名称変更のあった競技場及び長距離競走路

(2018.11.29 ~ 2019.03.27)

[和歌山]	高野龍神スカイラインウルトラ(100km)⇒	
	高野山・龍神温泉ウルトラ(100km)	
[熊本]	熊本県民(運)(陸)⇒えがお健康スタジアム	

◆新設の競技場及び長距離競走路

(2018.11.29 ~ 2019.03.27)

[栃木]	9637 下野市大松山(運)(陸)	◎第4種 400m	2019.01.01 ~
[栃木]	9649 栃木県総合(運)(陸)	◎第3種 400m	2019.04.01 ~
[東京]	9628 練馬区立練馬(総)公園(陸)	◎第4種 400m	2019.03.13 ~
[神奈川]	室87 日本体育大学横浜・健志台キャンパス第1体育館		
	内棒高跳(競) 暫定 室内棒高跳		2019.03.10 ~
[石川]	9611 加賀温泉郷(長) ▽42km195		2018.12.01 ~
[静岡]	室85 湖西市複合運動施設アミニティプラザ		
	暫定 室内棒高跳		2019.02.16 ~
[大阪]	9622 大阪(長) ◆42km195		2019.01.01 ~
[大阪]	室84 大阪城ホール 暫定 60m/HJ/PV/LJ/TJ		2019.02.02 ~
[香川]	室86 観音寺市立総合体育館室内棒高跳場		
	暫定 室内棒高跳		2019.02.09 ~
[佐賀]	9620 公認祐徳(ハ) ▽21km0975		2019.04.01 ~
[鹿児島]	9661 ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅(陸)		
	◎第3種 400m		2019.04.01 ~
[鹿児島]	室88 ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅室内(競)		
	恒久 50m/60m/100m/110m/HJ/PV/LJ/TJ		2019.04.01 ~

大会観戦ガイド

第103回日本陸上競技選手権大会 混成競技 兼ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 日本代表選考競技会 第35回U20日本陸上競技選手権大会 混成競技

▼期日：2019年6月8（土）～9日（日）
▼会場：長野市営陸上競技場 長野県長野市大字東和田632

▼アクセス：

JR「北長野」駅下車徒歩約20分
長野電鉄「朝陽」駅下車徒歩約15分
長野電鉄バス「運動公園」下車
上信越道「須坂長野東インターチェンジ」より約20分

▼種目：男子 〈日本選手権〉十種競技
〈U20選手権〉十種競技
女子 〈日本選手権〉七種競技
〈U20選手権〉七種競技

▼問合せ先：

一般財団法人長野陸上競技協会事務局
TEL 090-1867-7044

※大会の詳細は日本陸上競技連盟公式WEBサイト内、大会ページ <https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1355/> で随時アップします！

第103回日本陸上競技選手権大会 兼ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 日本代表選考競技会

▼期日：2018年6月27日（木）～6月30日（日）

▼場所：福岡市博多の森陸上競技場
福岡市博多区東平尾公園2-1-2

▼アクセス：

市営地下鉄「福岡空港」駅3番出口横よりにしてつシャトルバスで約10分

「福岡空港前」よりにしてつ路線バス「3番系統・イオンモール福岡系統」で「博多の森競技場前」下車徒歩2分

「福岡空港前」よりにしてつ路線バス「37・39・43番系統」で「東平尾」下車 徒歩15分

▼チケット販売概要

■販売期間

・発売開始：2019年4月12日（金）10：00～各開催日前日23時59分まで

■前売り販売窓口

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC/スマホ共通）
〔受付時間〕24時間受付（※要Lコード）

全国のローソン/ミニストップLoppiのある店舗にて販売
Lコード 82901

チケットぴあ <http://pia.jp/>（PC/スマホ共通）

〔受付電話〕0570-02-9999

〔受付時間〕24時間受付（※要Pコード）

全国のぴあ店舗、セブン-イレブン、ファミリーマートにて販売

Pコード 842-534

e+（イープラス）<http://eplus.jp/>（PC・スマホ共通）

全国のセブン-イレブン、ファミリーマートにて販売

CNプレイガイド

<http://www.cnplayguide.com/>（PC/スマホ共通）

全国のセブン-イレブン、ファミリーマートにて販売

■チケット購入時のご注意 ※下記内容をご理解のうえご購入ください。

- ・当日券の販売は、開催日当日分のみです。 ※翌日分等の販売は行いません。
- ・購入のチケットは、指定日の当日限り有効です。
- ・4日間通しのチケット販売はありません。
- ・各種チケットはエリア指定です。エリア内はご自由に移動できます。 ※座席指定ではありません。
- ・チケットの払い戻しや、差額を払ってのランクアップ購入は出来ません。
- ・小学生、中高生の前売り券をご購入された場合、入場口で学生証等の身分証明書の提示を求められる場合があります。
- ・未就学児童は保護者膝上での観戦に限り無料です。
- ・座席によっては、競技場内すべてが見渡せない場所もございます。
- ・座席の一部には撮影禁止エリアがあります。カメラ、スマートフォン、ビデオ等での動画・写真撮影は禁止です。

【ご注意】撮影禁止エリアでの撮影を発見次第、媒体没収のうえ、ご退場頂くこともございます。

■当日チケット販売について

- ・各券種は、前売の際にチケットが完売した場合、当日券の販売を行いませんので予めご了承ください。（販売状況は、各チケット購入窓口や日本陸連HPでご確認ください。）
- ・当日券の販売は、競技場正面広場のチケット販売所にて販売します。
- ・小学生、中高生のチケットは、ご本人様のみ購入・利用が可能です。（購入の際は学生証等年齢の証明できるものをご提示ください。）

■入場・再入場時のご注意

- ・入場ゲートはメインスタンド側にご案内いたします。混雑緩和のため座席お近くのゲートより入場くださいますようお願いいたします。
- ・開場時間は、天候等の状況によりやむ負えず変更になる事もありますので、予めご了承ください。
- ・入場ゲートでは、手荷物検査を行います。入場に時間がかかる事もございますので余裕をもってご来場ください。
- ・競技場内にはビン、カン等の危険物の持込は出来ません。（ビン、カンに入った飲料は入口で紙コップに移し替えて頂きます。）
- ・競技場内にはペットの同伴は出来ません。（盲導犬、聴導犬、介助犬等は入場出来ます。）
- ・再入場は可能です。再入場の際にはチケットの提示が必要です。紛失やお手元がない場合は、再購入が必要になります。

■車椅子席について

- ・車椅子席、介添え席をご購入は下記、第103回日本陸上競技選手権大会チケット問い合わせ窓口までご連絡下さい。

【ご注意】ローソンチケット、チケットぴあ、e+（イープラス）、

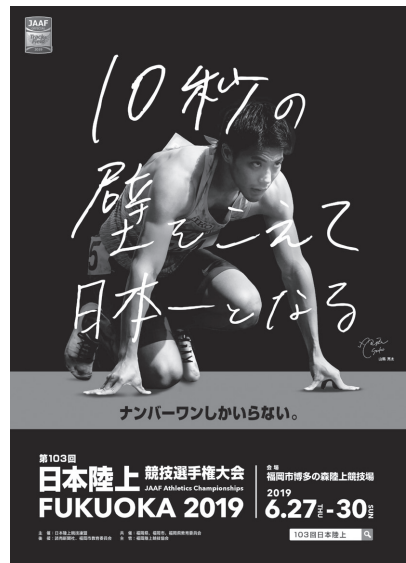
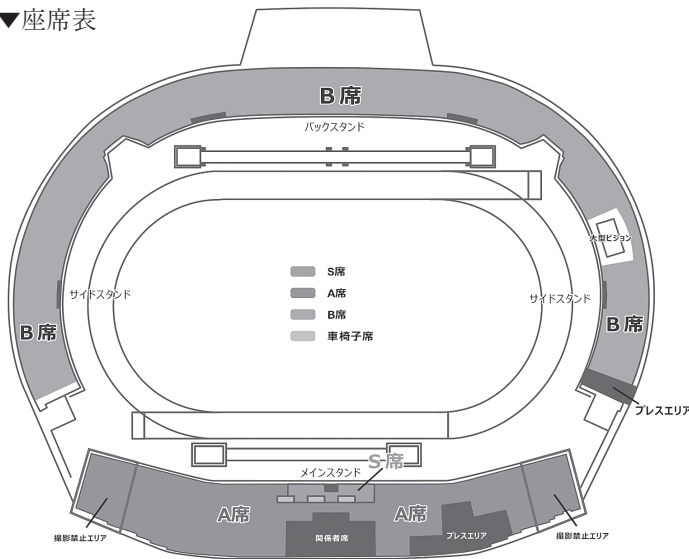
▼チケット券種・料金

区分	開催日	券種	S席	A席	B席	車椅子席 介添え1名様まで無料
前売券	6月27日(木)	一般	¥3,500	¥2,500	¥1,000	¥2,500
		中高生	¥3,500	¥2,000	¥500	¥2,000
		小学生以下で座席を利用	¥3,500	¥1,500	¥500	¥1,500
	6月28日(金) 6月29日(土) 6月30日(日)	一般	¥4,000	¥3,000	¥1,500	¥3,000
		中高生	¥4,000	¥2,500	¥1,000	¥2,500
		小学生以下で座席を利用	¥4,000	¥2,000	¥500	¥2,000

※前売券で1日30枚以上のチケットをご購入される場合は、大会運営本部までお電話ください。

区分	開催日	券種	S席	A席	B席	車椅子席 介添え1名様まで無料
当日券	6月27日(木)	一般	¥4,000	¥3,000	¥1,500	¥3,000
		中高生	¥4,000	¥2,500	¥1,000	¥2,500
		小学生以下で座席を利用	¥4,000	¥2,000	¥500	¥2,000
	6月28日(金) 6月29日(土) 6月30日(日)	一般	¥4,500	¥3,500	¥2,000	¥3,500
		中高生	¥4,500	¥3,000	¥1,500	¥3,000
		小学生以下で座席を利用	¥4,500	¥2,500	¥1,000	¥2,500

▼座席表



CNプレイガイド等の窓口では車椅子席の販売を行っておりません。

- ・車椅子席は、メインスタンドのみとなっています。
- ・車椅子席の購入の際は、介添者1名は無料でご観戦いただけます。
- ・席数に限りがございますので、お早めにお買い求めください。
- ・会場に到着の際は、総合案内所にお越し下さい。スタッフが座席までご案内します。

■座席の移動について

- ・S席を購入の場合、A席、B席への移動可。
- ・A席を購入の場合、B席への移動可。※S席への移動及び通過はできません。
- ・B席を購入の場合、S席およびA席への移動及び通過はできません。
- ・各エリアへの移動の際は、スタッフがチケットの確認を行いますので必ず携帯してください。

■その他のご注意

- ・お荷物は膝の上や座席の下に置いてください。場合によりスタッフがお声掛けさせて頂く事もございます。
- ・座席の場所取りは、おやめください。他のお客様のご迷惑となるので禁止とさせていただきます。

- ・競技場内の通路や階段での立ち見は、危険ですのでおやめください。
- ・置き引き等やお客様同士のトラブルについて、大会では責任を負いかねますのでご注意ください。
- ・有事や災害時等で避難指示が出た際は、スタッフの指示に従ってください。

■チケットに関する問い合わせ先

第103回日本陸上競技選手権大会 大会運営本部
4月12日(金)～6月30日(日)
電話：03-5974-1192
(土曜、日曜、祝日を除く 10:00～18:00)

▼問合せ先

日本陸上競技連盟事務局
TEL：03-5321-6580 FAX：03-5321-6591
(土・日祝日を除く10:00～18:00)

※大会の詳細は日本陸上競技連盟WEBサイト内、特設ページ <http://www.jaaf.or.jp/jch/103/> で随時アップします。

JAAF SAGA 一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961
http://www.sagarikujyo.jp/

3月24日に「さが桜マラソン2019」が開催され、大会ゲストの土佐礼子さんがエールを送る中、マラソンの部には国内外の市民ランナー9279人が出走し、春色の肥前路を駆け抜けた。大会では3千人のボランティアが給水などを担当し、約8万人の観衆が沿道からランナーを励ました。6時間半の制限時間内の完走率は91.7%と、4年連続で90%を超え、ランナーからも高い評価を得た大会であった。

佐賀県では2023年に第78回国民スポーツ大会が開催されることから、選手強化や競技力向上を図るとともに、普及活動にも力を入れていく必要がある。その一環として開催される「未来アスリート陸上大会」では、小学4年生から6年生までの児童約300人が50m走やソフトボール投げを体験し、陸上競技の楽しさを学んだ。この体験を通して陸上競技に興味を持った子どもたちが、やがては、佐賀県を代表する選手へと成長してくれることを期待したい。

大会本番まで残り4年余り、今後とも強化委員会、普及委員会が連携し、ターゲットエイジの強化育成に努めるとともに、指導者の育成にも力を注いでいきたい。

JAAF KUMAMOTO 一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688
http://www.kumariku.org/

日本人初のオリンピック選手である“マラソンの父”金栗四三を描いたNHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺(ばなし)』は1月から放送が始まりました。金栗さんを直接取材して唯一の伝記『走れ25万キロ』を書いた元熊本陸協会長の長谷川孝道氏も資料提供者として番組に名を連ねています。回が進むにつれて熊本を訪れる人も増え、生誕地である熊本県和水町の『金栗四三ミュージアム』は開館からわずか2カ月足らずで来場者が2万人を突破。県内外の関心は高まるばかりです。

8回目となる熊本城マラソンは2月17日、過去最多の約1万4千人が早春の肥後路を疾走。このうち、金栗記念第63回熊日30キロロードレース男子は、片西景(駒大)が1時間29分34秒の歴代7位タイで優勝。2位吉田圭太(青学大)3位湊谷春紀(東海大)と学生が上位を占めました。川内優輝(埼玉県庁)は1時間32分50秒で10位。女子も大学生の岡本奈々依(大阪学院)が1時間45分48秒で初の栄冠です。フルマラソン男子は、地元古川大晃(熊本大)が2時間20分9秒で2連覇。女子も地元の岩村聖華(八代市体協)が2時間55分33秒で初優勝しました。

3月の名古屋ウィメンズマラソンでは熊本信愛女学院卒の前田彩里(ダイハツ)が10位(2時間25分25秒)に入り、MGCの出場権を獲得しました。

熊本陸協は3月30日に理事会を開き、2019・2020年度の役員を改選。また、会計年度を1月〜12月に変更することを決めました。

(文責：企画広報部長 永廣憲一)

JAAF NAGASAKI 一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1
一般社団法人 長崎県公園緑地協会管理事務所分室内
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-47-5411
http://jaaf-nagasaki.net

2017年より長崎県の女性部では、女子選手の競技力の低下、女性指導者の減少などを危惧し、女子選手を中心とした強化練習会を女性指導者中心に実施し始めました。

どうしても高校3年生で競技を辞めてしまう女子選手が多く、また大学、社会人でも競技を続けようと頑張る選手はいるがなかなか成績も出ずに競技力が低下しているのが長崎県の女子選手の現状です。

1人でも競技を続けられる環境、そして帰ってくる場所があるよ。というメッセージを県外の大学生や、社会人で頑張っている選手に伝えたい思いもありました。

その選手たちが、長崎に帰ってきて指導者になってもらえればという思いもあり、現在中学生、高校生、大学生、社会人の選手と一緒に練習ができる練習会を年に3回実施しています。練習会では練習を一緒にするだけでなく、目標設定の講義や栄養面、体調面の講義も、練習に生かしています。

また、子どもがいるから指導はできないなどと女性指導者の問題も多岐中、なかなか女性指導者が輝ける場所がありませんでした。

女性指導者中心の練習会ということで、練習場所に託児所などを設定したり、女性指導者もこのびびと指導ができるような環境を整備しつつあります。

現在では、小学生の教員から主婦までが指導者になり、たくさんの子選手の指導に奮闘しています。

今後、選手同士も指導者同士も縦の繋がりや横の繋がりを大切に、競技力の向上と女性指導者の活躍を長崎県女性部は目指しています。

《練習会》

- 第1回練習会(各種目練習+各種目タイムトライアル)・・・8月
- 第2回練習会(ゲスト講師を迎えた練習会)・・・1月
- 第3回練習会(目標設定講義+各種目練習)・・・2月

JAAF OITA 一般財団人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市宮陸上競技場3階
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

新年度を迎え各専門部で本年度の運営事項を協議した。

総務部では各種会議の日程及び運営方針、ホームページの掲載内容の検討、調整、財務部では決算報告書、予算書の調整、財源の確保、競技部では本年度の競技日程と会場の決定、審判部では各競技会の審判員の確保と審判伝達講習会の内容、新規審判員の養成講習会の開催と日程、勧誘方法、強化部では組織体制と年間計画の協議、普及育成部では、普及計画と県体協との連携事業について協議。

評議員会、理事会において役員が改選され承認された。

2019、20年度役員(敬称略)

評議員	徳光久、下城重喜、円本宗秋、柴山広、波多野正夫、榮木一
代表理事会長	小手川強二
副会長	岡松真明、河野信治、船越武典
理事	長 稲津喜英
総務部長	原俊介
財務部長	古庄英之
競技部長	上杉貴志
普及育成部長	櫻井貢
女性部長	中野明美
監事	足立完治、小俣英之
	強化部長 羽田野明美
	審判部長 町田圭
	施設部長 泥谷和幸
	以下理事23名

(文責：理事長 船越武典)

陸協NEWS



JAAF
MIYAZAKI

一般財団法人宮崎陸上競技協会

〒880-0022 宮崎市大橋2-6-1 ヤオイビル5階
TEL.0985-25-6011 FAX.0985-25-6011
<http://www.miyariku.org/>

4月に開催している第1回宮崎県陸上競技記録会の中で、昨年度より「宮陸チャレンジャーズゲート競技会」を行っている。この競技会は、国内のトップ選手を宮崎に招待し、宮崎のトップ選手と競わせている大会である。また、年度当初に行われることもあり、各種上位レベル大会の標準記録を突破し大会出場のチャンスをつかんだり、今期活躍のきっかけとなったりする「挑戦者のための門(扉)」になってほしいという願いが込められている。

昨年度は、日本選手権100mで優勝した世古和選手(CRANE)やパラリンピック出場を目指している中西麻耶選手(うちのう整形)ら5名を招待し、開催した。その中で、世古選手に競り勝った高校1年生の新坂太佳子選手(西池AC)は、その実績が評価され、日本代表としてユースオリンピックの日本代表に選ばれ、8位に入賞した。第1回大会は、まさに、挑戦者のための扉となった大会であった。

本年度も、4月13日、14日に、矢沢航(デサント)110mH、諏訪達郎(NTN)100m・200m、猶来雅文(大阪ガス)100m・200m、大田和宏(日本体育施設)走高跳、和田 麻希(ミズノ)100m・200m、清山ちさと(いとご)100mHの6名の選手を招待し、開催した。風の影響で、記録的にはもう一つであったが、どの選手もこれから行われるグランプリシリーズに向けて手ごたえを感じたようである。

今後も、宮崎の選手のために、規模を拡大してきながら、開催していきたい。

(文責: 競技部長 相馬勇一)

JAAF
OKINAWA

一般社団法人沖縄陸上競技協会

〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山51-7
沖縄県体協スポーツ会館5階 506号
TEL.098-996-2881 FAX.098-996-2882
<http://www.jaaf-okinawa.jp/>

去った2010年の美ら島総体以来の大きなイベントが、愛称「感動は無限大 九州南部総体 2019」スローガン「響かせろ我らの魂南の空へ」のもと、8月の夏沖縄で開催されます。

このスローガンは、情熱を持って、真剣に競技に取り組む高校生の若さ溢れる熱いプレーとそれを生み出すあらがま魂(沖縄県宮古島の方言で不屈の精神の意)。その二つを熱気に満ちた南の空、世界の空へ響かせてほしい想いが込められています。

本県選手も一人でも多くの優勝・入賞を目指し、関係団体の協力のもと強化計画(強化合宿・合同練習会)に取り組み、準備を進めています。又、昨年末には日本陸連ジュニア(U-19)強化研修を沖縄県で開催し、素晴らしいコーチ陣のもと実りある合宿ができたことに心から感謝申し上げます。

沖縄は暖かい気候に恵まれ、現在は観光地として日本全国、世界各地から沢山の人が訪れます。南部総体にも多くの方々を訪れ、大会応援と共に沖縄の素晴らしい文化に触れ、深く心に刻まれる思い出となるよう、主催者と共に「最高のおもてなし」でお迎えする準備をしています。

皆様の来岐を心よりお待ちしております。

チバリヨ〜沖縄!

JAAF
KAGOSHIMA

一般財団法人鹿児島陸上競技協会

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-2-2 鴨池陸上競技場内
TEL.099-259-6053 FAX.099-299-6054
<http://www3.synapse.ne.jp/karikupage/>

陸上競技合宿の拠点施設完成!

「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」整備、屋内競技場も完備

鹿児島県の東部、大隅半島に陸上競技のトレーニングに特化したスポーツ合宿の拠点施設、「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」が完成し、4月から供用を開始しました。

日本陸連第3種公認競技場で、全天候舗装8レーンのトラックをはじめ、約120mの傾斜走路や砂場走路があります。また、多目的グラウンドは土舗装の400mの4レーン相当の走路もあり、投てき練習場や体育館、トレーニングルームも完備し、国内トップクラスの充実した内容になっています。

特に、誇り得る施設は、室内競技場です。国内最長の150mレーンが5つ、走幅跳・三段跳用の助走路と砂場、棒高跳も可能なピットがあり、雨天時も心配することなく練習に集中できる施設環境です。かつ、空調設備も整っています。

近くには、松林に囲まれたクロスカントリーコースもあり、バリエーションに富んだ練習やトレーニングメニューを組み合わせることが可能です。圏内に鹿児島体育大学もあり、スポーツパフォーマンス研究センターを活用したトレーニングを工夫することもできます。

整備にあたっては、日本陸連のスタッフの意見や助言をいただきました。一見は百聞に如かず。国内外からの御来鹿を期待し、多くのアスリートが合宿・キャンプに訪れることを心待ちしています。

事務局からのお知らせ

◆◆セイコー GGP応援メッセージキャンペーン！～みんなの応援メッセージを選手に届けよう！～◆◆

5月19日（日）、大阪市・ヤンマースタジアム長居で開催する、「セイコーゴールデングランプリ陸上2019大阪」。今大会では、皆さまから選手への応援メッセージを大募集します！

いただいたメッセージは、会場の大型映像に掲載し、選手へお届けします！

メッセージをいただいた方の中から、抽選でプレゼントを差し上げますので、沢山の応募お待ちしております！

キャンペーン詳細はこちら▶

<https://www.jaaf.or.jp/ggp/2019/>



【概要】

～応募方法～

対象SNS：Twitter & Instagram

以下2点を満たしていることが、応募条件となります。

- ・ハッシュタグ「#セイコー GGP」「#選手名」を入れてツイート又は投稿する。
※「#選手名」のところには応援する選手名を入れて投稿してください。

- ・セイコースポーツの**Twitterアカウント (@sports_seiko)** 又は **Instagramアカウント (seiko_sports)** をフォローすること

【キャンペーン期間】

2019年4月24日（水）～5月19日（日）23：59まで

※状況によって応募期間がずれることがあります。

【プレゼント】

山縣亮太選手限定モデルデジタルウォッチ 5名様

【当選者の発表】

当選者の方には5月下旬から順次、@sports_seikoよりダイレクトメッセージにてご連絡と送付先の確認をさせていただきます。

陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩（陸連会長）
友永 義治（陸連副会長）
八木 雅夫（陸連副会長）
尾縣 貢（陸連専務理事）
麻場 一徳（陸連強化委員長）
風間 明（陸連事務局長）
高橋 克実（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘
◇時報編集担当
繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
廣瀬 静香

陸連時報編集室

〒163-0717
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル17階
公益財団法人日本陸上競技連盟 内
TEL 03-5321-6580
FAX 03-5321-6591
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>